

## 平成28年度地震対応図上型防災訓練実施計画

### 1 訓練目的

今世紀前半の発生が危惧されている「南海トラフを震源とした巨大地震」の発生を想定し、図上型防災訓練を実施することにより、地震発生時の初動期における災害対策本部が行なうべき状況判断（意思決定）と役割の確認をはじめ、応急対策活動上の問題点及び課題を抽出するなど、本市災害対応能力の向上を図ることを目的とする。

### 2 実施日時

平成28年6月9日（木） 14時00分～16時30分

### 3 訓練会場

市役所本庁舎 5階 本部室（災害対策本部事務局運営）  
本部会議室（災害対策本部会議）

### 4 訓練参加機関・参加者

【プレイヤー部】松山市災害対策本部（約100名）

災害対策本部長、副本部長、本部長付、本部員及び災害対策本部事務局員

【コントローラー部】統括係、状況付与係（約30名）

四国地方整備局松山河川国道事務所、松山地方气象台、陸上自衛隊第14特科隊、愛媛県、松山東・西・南警察署、市職員

### 5 訓練実施要領

#### (1) 訓練想定

平成28年6月9日（木）14時00分、南海トラフを震源としたM9.0（市内最大震度7）の地震が発生。

大きな揺れにより、市内各地で家屋の倒壊や道路の損壊等で甚大な人的・物的被害が発生するとともに、瀬戸内海沿岸に大津波警報（特別警報）が発表される。

（松山市最大津波高3.9m）

#### (2) 訓練方式

##### ア「図上シミュレーション方式」

実際の災害時に近い場面を設定して、コントローラーから電話や状況付与票等で付与される災害状況を、プレイヤーである災害対策本部が収集・分析・判断するとともに、対策方針を検討するなどの災害対処活動を図上で行なう。

なお、電話や状況付与票等に基づき、対応記録票や時系列管理シートに記入するよう徹底するとともに、情報連絡票を活用したプレイヤー間の情報交換を促す。

イ「ブラインド方式」

事前にシナリオをプレーヤーに明かさない方法で実施する。

(3) 主要訓練項目

- ア 地震発生直後における、市及び関係機関等が連携した初動対応
  - (ア) 情報の収集・処理（整理・分析・伝達）及び情報の共有
  - (イ) 優先順位に応じた応急対策の検討
  - (ウ) 防災関係機関等との連絡調整
- イ 災害対策本部事務局内の連携要領
  - (ア) 災害対策本部及び災害対策本部事務局の運営状況を検証

(4) 過去の大規模災害の教訓を受けた訓練内容

- ア 停電状態での災害対策本部の設置（開始10分間）
- イ 大津波警報発表時の対策方針決定（標高マップの使用）
- ウ 熊本地震の教訓を想定に加える。

6 訓練スケジュール

14時00分	図上訓練開始
	シェイクアウト訓練
14時05分	第1回災害対策本部会議
15時00分	第2回災害対策本部会議
16時00分	図上訓練終了、全体討議、訓練講評
16時30分	終了

7 その他

- (1) 市長、副市長及び各部局長等参加のもと、災害対策本部会議を開催します。
- (2) 14:00訓練開始の放送で、安全確保行動「シェイクアウト訓練」を行います。